

事業ID:2019522481

事業名:海と日本プロジェクトinえひめ

団体名:海と日本プロジェクトinえひめ 実行委員会

極秘

7.オリジナルイベント

7-(1) オリジナルイベント開催概要

イベントタイトル	村上海賊に学ぶ！しまなみ海道合宿
イベント概要	2020年度舞台の中心は、日本史上最大の海賊と称され、日本遺産にも認定された村上海賊の拠点が点在する、愛媛県今治市大島、大三島など、しまなみ海道周辺です。 村上海賊の歴史・文化だけでなく、海とともに生きた彼らの知恵を学び、周辺の海の世界体験(潮流体験)します。地域ならではの海の自然環境と、現代の海洋産業、海産物・食などを学びます。海事都市今治市の古今に至る、海との関わりについて理解を深めてもらう学習ツアーです。
実施期間	2020年8月18日(火曜日)～2020年8月19日(水曜日)
開催場所	愛媛県今治市 大島 大三島 周辺
参加人数	16人(小学5年生7名、小学6年生9名)
主催	海と日本プロジェクトinえひめ実行委員会
共催	なし
協力	村上海賊ミュージアム・ビーチクリーンしまなみ・愛媛県漁連宮窪支所 愛媛県立今治北高等学校大三島分校 他
事業目標	<ol style="list-style-type: none"> オリエンテーション 愛媛県全域から小学5・6年生を20名募集 村上海賊ミュージアム学習 海との共生と、人々の関わりについて理解を深めてもらう お魚講座 海の資源の尊さや、環境変化について理解を深めてもらう 潮流体験 地域の海の特長や自然の力に触れてもらう 小早船乗船体験 現代との船の構造の違いについて理解を深めてもらう 海事都市今治講座 村上海賊が現代に残した航海技術や、現在の今治市海事都市産業の実態について理解を深めてもらう 海辺の生物観察会 海の生き物に触れてもらうとともに、海の環境を守ることの大切さを学ぶ 海割れ体験 潮の満ち引きが起こす、海の仕組みについて理解を深めてもらう 成果報告とアウトプット プログラムを通じて体験した海を愛媛ならではの俳句、さらには写真で表現し、成果物として各所へ掲示。県内交通機関等に掲示し広く拡散を図る。海の学びが記載された俳句手帳を今年も作成、県内各所へ配布を目指す。

7-(2) イベント詳細

イベント詳細	
	<p>1. オリエンテーション (1)時期:2020年8月18日(火)~2020年8月19日(水) (2)場所:みなと交流センター「みなと」 (3)募集:愛媛県全域から小学5・6年生を募集 (4)募集条件:事前募集 愛媛県内の小学生5・6年生</p> <p>2. 村上海賊ミュージアム学習 (1)時期:2020年8月18日(火) 10:00~11:30 (2)場所:愛媛県今治市 村上海賊ミュージアム (3)参加者:16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:村上海賊ミュージアム館長と学芸員を講師とし、村上海賊の歴史や文化はもちろん、当時の海洋での役割や航海術、船の構造や生活など海との共生・関わりを講師からの講座と館内クイズラリーを通して学びました。</p> <p>3. お魚講座 (1)時期:2020年8月18日(火) 11:40~12:50 (2)場所:愛媛県今治市 能島水軍 (3)参加者:16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:愛媛県漁連宮窪支所の方を講師とし愛媛県の水産事情(漁獲量の変化、ごみを与える漁業への影響など)を学びました。また漁師の方には目の前で魚のさばき方講習を行いました。</p> <p>4. 潮流体験 (1)時期:2020年8月18日(火) 13:00~14:00 (2)場所:愛媛県今治市 能島周辺 (3)16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:古来より瀬戸内海を往来する船にとって最大の難所と呼ばれる地域で、潮流体験を通して、地域の海の特性や自然の雄大さを学びました。</p> <p>5. 小早船乗船体験 (1)時期:2020年8月18日(火) 14:30~15:30 (2)場所:愛媛県今治市 能島水軍前 (3)16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:村上海賊が実際に使用した「小早船」の復元船に乗船し、現代と昔の船のつくりの違いを学びました。</p> <p>6. 海事都市今治講座 (1)時期:2020年8月18日(火) 16:30~17:00 (2)場所:みなと交流センター「みなと」 (3)16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:今治市が日本最大の海事都市と呼ばれる所以や海流が激しいこの地域ならではの工夫された航海中のルールについて、今治市役所・海事課から講師を招き、講座を開催しました。</p> <p>7. 海辺の生物観察会 (1)時期:2020年8月19日(水) 13:30~14:30 (2)場所:大三島自然の家前海岸 (3)16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:ビーチクリーンしまなみの方々を講師とし、海岸へ行く前に海ごみについて学ぶ講習を受けました。海岸ではごみ拾いと生物観察を行い、ごみが生物に及ぼす悪影響についても学びました。</p>

7-(2) イベント詳細

イベント詳細	<p>8. 海割れ体験 (1)時期:2020年8月19日(水) (2)場所:甘崎城址 (3)参加者:16名(小学5年生7名、6年生9名) (4)内容:潮の干満によって、年に数回海割れ現象がみられる村上海賊の甘崎城址で、村上海賊ミュージアム学芸員の方による海割れ現象の解説や海辺の生物観察会を行い、海洋生物の生態や海のメカニズムについて学びました。</p> <p>9. 成果報告とアウトプット (1)時期:2020年8月～2020年12月 (2)場所:みなと交流センター「みなと」 今治市 日本遺産サミット会場(今治市テクスポート) 松山市内 伊予鉄道郊外線 社内広告 (3)参加者:イベント参加者他 (4)内容:①2日間のプログラムで学び体験した海を、愛媛ならではの俳句で表現。地元高校生と共同制作にてポスター化し、県内各所へ掲示。 みなと交流センター「みなと」ホール 今治市で開催の「日本遺産サミット」会場に特設ブースを設置。 ポスターとイベント報告パネルを展示しました。 ②作成したポスターを、松山市伊予鉄道郊外線車両内に期間限定(2020年10月)で広告掲載しました。広く県民への周知を図りました。 ③ポスターは「うみぼすグランプリ」にも出展しました。 ④海の学びや、海プロ活動紹介が掲載された俳句手帳(3,000部)を作成し、坂の上の雲ミュージアム(松山市)などに設置しました。 ⑤テレビ特別番組を南海放送テレビで放送。 9月21日(祝)10:25～10:55</p>
--------	--

7-(2) イベント写真

オリエンテーション



村上海賊ミュージアム学習



お魚講座



潮流体験



7-(2) イベント写真

小早船乗船体験



海事都市今治講座



海辺の生物観察会



海割れ体験



7-(3) その他

<p>配布物</p>	<p>①募集チラシ3,000枚 ②俳句手帳 ③旅のしおり ④オリジナルマスク</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">      </div>
<p>目標の達成状況</p>	<p>1の達成状況:参加人数20名で募集し定員20名に達したため募集を締め切った。新型コロナウイルスの影響があり4名キャンセルとなり最終16名の参加となった。</p> <p>2の達成状況:村上海賊ミュージアム・高橋館長に講師としてご出演頂き、講座とクイズラリーを通して、村上海賊が栄えた理由や、海との共生について学ぶことができた。</p> <p>3の達成状況:魚さばき体験を通じて魚に触れる機会を創出し、海の恵みに感謝するきっかけ作りができた。漁協関係者の講座では海洋環境の変化(水温上昇に伴い獲れる魚の種類や漁業時期が変化している)を知り、今後の生活を見直すきっかけとなった。</p> <p>4の達成状況:壮大な激流を体験することで、地域の海がいかにか特徴的な環境であるかを理解できた。</p> <p>5の達成状況:船を扱うことを通じて、船舶の構造について学ぶことができた。</p> <p>6の達成状況:世界でも類を見ない海産事業が集積する海事都市今治は先人たちが培ってきたものづくりにかける心意気を受け継ぐ文化があるからこそであり、その文化をこれから引き継いでいくのは子供たち自身であることを感じた。</p> <p>8の達成状況:年に2回ほどしか体験できない海割れ体験では、潮汐のメカニズムを知ったり、普段見ることのできない海の生き物に触れることができた。</p> <p>9の達成状況:海の俳句については、今回のメインテーマにもしていた、潮流潮汐についての句が多く、プログラムを通じて、地域の海への理解が深まったことが証明された。また、子供たちが作った俳句は、地元高校生とのコラボ企画でうみぽすグランプリに出展し、今治市で開催される日本遺産サミットで掲載したり、松山市内の交通広告で広く周知を図ることができた。</p>

7-(3) その他

<p>目標の達成状況</p>	<p>事業実施によって得られた成果: 各体験に講師がいたことで学びに深みが出て子供たちの理解も深まった。最後のまとめで2日間あったことをクイズ形式で発表する場では、一つ一つのことに関してとても詳しく理解していたことに驚いた。学びと体験、そしてアウトプットすることで、これからの海との関わり方について考える思考がしっかり身に付いているように感じた。</p> <p>成功したこととその要因: 今回海で体験することが多く、海離れが進む昨今、子供たちにとって刺激的な2日間となった。前年度課題にあがった講師との認識のずれを無くすため、事前打ち合わせを入念に実施。それぞれの体験前の学びの解説では、海への学びが深まる解説をしていただくことができ、更に海のしおりを補足資料として配布したことで、体験にまつわる海の学びの予習・復習ができた。その成果として、イベント最後に実施した体験の振り返り(俳句による成果報告内で実施)では、海の学びと紐づいた体験の感想を聞くことが出来た。</p> <p>失敗したこととその要因: 募集20名に対し新型コロナウイルスの影響で、途中キャンセルが発生し最終16名の参加となった。キャンセルを見越し募集を継続して実施するべきだった。コロナ禍を見越して、WEB配信などを絡めた展開や、アウトプットにオンラインでの施策を追加していくことが今後必要であると感じた。</p> <p>活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案: 俳句でイベントのまとめを発表する場は愛媛県らしさであり、今後も継続して行いたい。今回、簡易的なしおりを作成し、より理解しやすい仕組みを作ることができたが、こちらが伝えたいことだけを記載したため最大限に有効活用できなかった。参加者も一緒になって作っていけるような資料作成する必要があったと感じている。</p>
----------------	--

7-(4) メディア露出状況

自社媒体

・募集告知 2020年7月17日～15秒×30本



・海応援動画 2020年9月15日



他媒体

- ・チラシ
- ・うみぼす出展
- ・日本遺産フェスティバル展示

